

ご挨拶



滋賀県立大学工学部長 徳満勝久

湖風会「工学部学友会」第六回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。滋賀県立大学工学部を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。

2019年末に中国湖北省武漢市で「原因不明肺炎の発生」の第一報があり、その後この新型肺炎の原因は「新型コロナウイルス（COVID-19）」と特定されたものの、当時はワクチンも無く、瞬く間に世界的な広がりを見せ未曾有の大惨事となりました。そのため、前回の学友会第五回総会は対面での実施を断念されとお聞きしておりますが、同窓生が一堂に会する折角の機会を失われ、学友会の皆様方の落胆は如何ばかりであったかと心中お察しいたします。

この新型コロナウイルスの脅威は、本学および工学部にも多大なる影響を与えています。例えば、①「入学式やオリエンテーションの中止」、②「講義をオンラインで実施し、学生の登校や研究の制限」ということがあげられます。①の入学式の中止は、新入生にとりまして受験が終わった開放感と新たな大学生活に向け胸膨らませる重大なセレモニーの一つではありますが、それが行われず新たな友達作りや人間関係を築く貴重な機会失ったのではないかと危惧しております。②の「オンライン授業」につきましては、対面で学べる情報量と比べて、やはり極端に少なくなるのは否めない印象であり、これも多くの学生にとりましてデメリットになったような印象があります。そして、「オンライン化」の影響は就職活動にも影響を与え、集団面接や個人面接をオンラインで行う企業が増える中、なかなか自分の良いところ（持ち味）を出せないというケースも多々あったという話も聞きます。そのような中でも、工学部の学生達の昨年度の就職率は学部卒業生で97.7%、大学院博士前期課程修了生で100%という高い就職率でありましたことは、慣れない環境での学生諸君の健闘の賜だと思っております。

さて、工学部では2016年度より「県大Techサロン」と銘打った研究情報活動を実施しております。このサロンは、「物質創生サロン」「機能創生サロン」「エネルギー環境サロン」「情報応用サロン」の4つで構成されており、各サロンで企画・実施されるセミナーや研究発表会等を各サロンのメンバーの各企業の皆様方にご参加頂けるように情報提供させて頂いております。また、例年9月に行っておりました「工学部研究交流会」は新型コロナウイルス蔓延防止の観点からやむなく2020年度は中止させて頂きましたが、2021年度はオンラインによる工学部研究交流会を開催させて頂きました。なお、工学部らしい新しい試みとして、「oVice」というアプリを用いた“バーチャル研究交流会”を実行委員の先生方を中心に企画・運営頂き、ご参加頂いた学外の多くの皆さま方に本学教員および学生達と交流を深めて頂くことができ、大変有意義な企画となりました。

滋賀県立大学工学部は、工学部の教員・学生は元より、学友会の皆様方、地域の方々、学外の多くの方々との交流・連携を図ることによりさらに発展していくことを願っております。今後とも、学友会の皆様方のご支援・ご協力を賜りながら、活力のある滋賀県立大学工学部となりますよう努力して参りたいと思っております。最後になりましたが、工学部学友会様の更なる発展と会員の皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。